

教科(科目)	公民（公共）	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	実教出版『公共』				
副教材等	実教出版『公共ノート』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ ①自ら学び、自ら考え、主体的に物事に取り組む力を育成します。 ②様々な人とコミュニケーションを図り、自他を理解・尊重する心を育成します。 ③自己の進路希望を実現できる確かな学力と豊かな人間性を育み、社会に貢献できる力を育成します。
カリキュラム・ポリシー	～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～ ①多様な選択科目を設定し、得意分野の力を伸ばし、主体的に学ぶ意欲を高める授業を展開します。 ②積極的なICTの活用や探究的な学びをととして、思考力、自己表現力、発想力を育む授業を展開します。 ③学校行事、部活動、生徒会活動や外部と連携した学習活動をととして、自己や他者を理解したり、社会的な課題や問題を知る機会を充実させたりします。

2 学習目標

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。（学習指導要領 公民〈公共〉 第1款「目標」より） (1) 諸課題を捉えて考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 諸課題の解決に向けて、その手掛かりとなる概念や理論を基に公共的な空間の基本的原理を活用して、多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。 (3) より良い社会の実現を視野に、諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛しその平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協働し合う大切さの自覚などを深める。
--

3 指導の重点

①事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら議論する力を養うことを目指す。 ②公共的な空間に生きる公民としての自覚を持ち、自由と民主主義を尊重し、地域社会や国際社会で協働する態度を育成することを目指す。
--

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
社会的事象を理解するため、および進路実現に不可欠な基礎学力向上のために、知識や技能を習得しようとしている。	・倫理、政治、経済の各分野の基礎的な知識を基にして、論理的に思考しようとしている。 ・多様な価値観を理解しつつ柔軟に判断・対応しようとしている。 ・公的な空間における他者への共感と敬意を自覚しながら、相互に成長しより良い集団の形成に貢献しようとしている。	・知識や理論を一義的に理解することとどまらず、異なる立場や視点に留意しながら理解を深めようとしている。 ・現実社会に存在する様々な課題について、疑問や関心を持ち、他者と協働して解決しようとしている。

5 評価方法

	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査の分析 ・『ワークシート』、課題プリント等の分析 および確認などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査の分析 ・視聴覚教材や各種レポート等 分析および確認などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業中の取り組み ・課題等の提出状況 ・視聴覚教材や各種レポート、振り返りシートの記述の分析および確認 などから、評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」C：「努力を要する」で評価します。内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	時数	教材名	学習活動(指導内容)	評価方法
4	第1部 第1章	20	教科書 資料集 ワークノート 課題	・社会への参加について、具体的事例をあげて多角的に考察し理解を深める。	確認プリント 定期考査 ワークノート 振り返りシート
5	第2章			・哲学や宗教の役割を理解し、人生を豊かに生きるとはどういうことなのかを多角的に考察し理解を深める。	
6	第3章			・人間の尊厳と平等性の意味、社会活動の意義について考察し理解を深める。	
	他者とともに生きる 第4章 民主社会の倫理				
7	第5章	22	教科書 資料集 ワークノート 課題	・基本的人権の保障にいたった経緯について資料を収集し、具体的事例をあげて考察する。	確認プリント 定期考査 ワークノート 振り返りシート
8	民主国家における基本原理			・世界のおもな政治体制について、真の民主政治の実現と関連させて考察する。	
9	第2部・政治 第1章			・日本国憲法の成立過程や明治憲法との比較、日本国憲法の三つの基本原理について主体的に考察し理解を深める。	
10	日本国憲法の基本的性格 第2章 日本の政治機構と政治参加			・憲法で保障される基本的人権を考察し理解を深める。 ・日本国憲法に規定される政治機構の特徴を考察し理解を深める。選挙制度や政党政治について、主権者として主体的に考察し理解を深める。	
11	第2部・経済 第1章	20	教科書 資料集 ワークノート 課題	・経済の基本的なしくみと資本主義経済、社会主義経済の特徴を考察する。	確認プリント 定期考査 ワークノート 振り返りシート
12	現代の経済社会			・企業・家計・政府はどのような活動をしているのか、企業の社会的責任について考察し理解を深める。	
1	第2章			・戦後日本経済の歩みを、各種資料を参照しながら考察し理解を深める。	
	日本経済の特質と国民生活 第2部・国際 第1章 国際政治の動向と課題 第2章 国際経済の動向と課題			・失われた 10 年以降、日本経済の課題や社会問題の解決策について、身近な問題と関連させて考察し理解を深める。 ・国際法の意義と役割を多面的に考察し理解を深める。 ・国際貿易や外国為替のしくみ、経済のグローバル化について考察し理解を深める。また、現代の国際的な経済問題について、インターネット等を利用して調査し考察する。	
2	第3部	8	教科書 資料集 ワークノート 課題	・現代社会の諸課題を発見したうえで、その課題の解決に向けた合意の形成をめざし、協働的に考察、構想し、自分の考えを説明、論述する。	ワークノート 振り返りノート 作文
3	持続可能な社会づくりの主体となるわたしたち				

計 70 時間 (50 分授業)

7 課題・提出物等

- ・単元毎に、振り返りシートを記入して提出します。
- ・定期考査前に確認プリントを配布します。定期考査科目終了日にワークノートを提出します。
- ・長期休業中の課題は別途指示します(課題学習、作文の提出など)。

8 担当者からの一言

「公共」は新教育課程で新しく採用された科目です。内容は、大人ならば何かしら知っているものばかりです。例えば、会社員であれば労働について実感として知っているだろうし、スーパーに買い物に行けば、物価の上下について実感せざるを得ないと思います。18 歳から成人となる生徒のみなさんには、もしかしたら実感はないかもしれませんが、「公共」で政治や経済などを学習し、今のうちに自分なりの見方や考え方を一通り準備しておけば、その場になってからどう考えたらいいかさえ分からないという状況にはならずに対処ができるのではないのでしょうか。中学校で学習した公民の知識が基本になっていますし、1 年次で学習した「地理総合」「歴史総合」とも深い関わりのある科目です。それらを振り返り関連させながら広く学んでいきましょう。